

# 「地域の感染レベル」が2に上がりました。

## 「地域の感染レベル」が2に上がって変わる事

### ①健康状態の把握【レベル3地域・レベル2地域】

○児童生徒等本人のみならず、家庭への協力を呼びかけ、同居の家族にも毎日健康状態を確認するようにお願いします。

→健康観察カードに同居の家族の健康状態を記入する。

○登校時の検温結果の確認及び健康状態（同居の家族の健康状態も含む）の把握を、登校時に行うようにします。

→検温ができていない児童は昇降口で検温し、カード又は健康観察簿に記入する。

○児童生徒等本人のみならず、同居の家族に風邪症状が見られる場合には、登校をさせないようにします。

→町教育委員会からの文書（R3. 8/27付）のとおりとする。

### ②感染リスクの高い学習活動【レベル2地域】

○「感染症対策を講じてもおお、感染リスクの高い学習活動」において、★印の特に感染リスクの高いものは、これまでより、「より強力」な感染対策を検討するまで、実施しない。

- ① 各教科に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」★
- ② 理科における「児童が近距離で活動する実験や観察」
- ③ 音楽科における「リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」★1
- ④ 図画工作科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ⑤ 家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」★
- ⑥ 体育科における「児童が密集する運動」★や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」★  
(★はこの中でも特に感染リスクの高いもの)

★1 飛沫防止ガードを必ず使用し、リコーダー・合唱などの演奏は極力短くします。

・屋内で50名以上が集まる活動（学年集会、学年体育等）は原則行いません。ただし、体育館で行う学年の行事や学習などについては、前後左右に十分な間隔をとるなどの感染対策を行い、実施する予定です。

・マスクを着用

・机の間隔をあける（1学期と同様の形）

・体育の授業では、マスクを着用しないが、2mの距離を保つ。

・対話的な学びを推奨するが、「密接」にならないよう、対話を促す際は、マスク着用を確認し、1mの間隔を確保した自席からの対話とする。（対話のために机

を向かい合わせにしない)

休み時間の動線【レベル3地域・レベル2地域】

- ・マスクを着用する。
- ・換気をする。
- ・休み時間が終わったら必ず手洗いをする。(教室での声かけ)
- ・外遊びを推奨するが、体同士が接触するような遊び(おんぶやだっこ等)はしない。
- ・図書室は飛沫感染を防ぐためマスクを着用し、対面しないように座席を配置し、しゃべらず利用する。
- ・体育館は、学年ごとの使用曜日を定める。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2 m 程度 (最低1 m)	行わない	個人や少人数での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	1 mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 5px;">             ↓ 収束局面           </div> <div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 5px;">             感染リスクの低い活動から徐々に実施           </div> <div style="text-align: center; margin-left: 5px;">             ↑ 拡大局面           </div> <div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 5px;">             感染リスクの高い活動を停止           </div> </div>	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1 mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	適切な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食(昼食)の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを触ったとき

